

杉本鏡子 すぎもと かがこ 小説家。明治廿八年新潟縣生れ、昭和二十五年没（八七二一九五〇）。舊長岡藩家老稻垣家の生れる。アメリカ東部の貿易商杉本氏の嫁ぐと、一女を儲けて歸國の際夫の死に遭ふ。數年後再渡米、文筆の活路を開き、大正十四年ダブリュー・ドーラン社から『DAUGHTER OF THE SAMURAI』を出版、その後七カ國語に翻譯せられて讀まれり（邦譯『武士の娘』大岩美代譯、昭和十八年八月十日長崎書店。再刊・四十一年十月二十日筑摩書房「筑摩叢書」）。次で數年ヨーロッパ大學で日本の文化史を講義ののち、昭和二年歸國。

他に『NANCY VIRGINIA AUSTIN』共著『WITH TARO AND HANA IN JAPAN』（ETSU INAGAKI SUGIMOTO 著、1926 NEW YORK・FREDERICK A. STOKES COMPANY）、『F・ウエルズ共著『お鏡お祖母さま』』（大岩美代譯、昭和十六年四月二十日九日實業之日本社）等。

